[ご寄付のお願い]

本財団の事業に、ご賛同いただける皆様のご寄付をお願い申し上げます。

ご寄付は常時受け付けております。

詳しくは、本財団事務局までお問合わせ願います。

お問合わせ: 公益財団法人山田昇記念財団
〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号
https://yamada-noboru.org/contents/contact.html
山田昇記念財団 検索
こちらのQRコードからもお問合わせいただけます

●このパンフレットは
FSC®認証材および
管理原材料から
作られています。

●このパンフレットは
環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。

山田昇記念財団

YAMADA NOBORU MEMORIAL FOUNDATION

未来へつなぐプロジェクト

未来へつなぐプロジェクト

子どもたちが健やかに育ち 明るい未来をつなぐために…

1 子どもたちの健全な育成

1. 自然にふれる体験活動
2. 子どもの自立支援
3. スポーツ活動支援

2 交通事故防止活動

子ども たちを
交通事故か ら守るため、
交通安 全活動を
実施して います。

3 寄付・支援助成事業

子どもの健全な
育成に役立つ
寄付・支援助成を
行っています。

代表理事からのメッセージ

公益財団法人山田昇記念財団では、「子どもたちの健全な育成」「交通安全対策」など、地域社会へ貢献する各種事業活動を実施しております。

この度発足した「未来へつなぐプロジェクト」は、生まれ育った環境によって左右されることなく、子どもたちが未来に希望を見いだせるように、その活動を全国へ広げていくことを目的としたプロジェクトです。

子どもたちが明るい未来をつなげていくことを使命として、私たちはこれからも取り組んでまいります。本財団の趣旨をご理解いただき、皆様には今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 山田昇記念財団
代表理事　桑野 光正

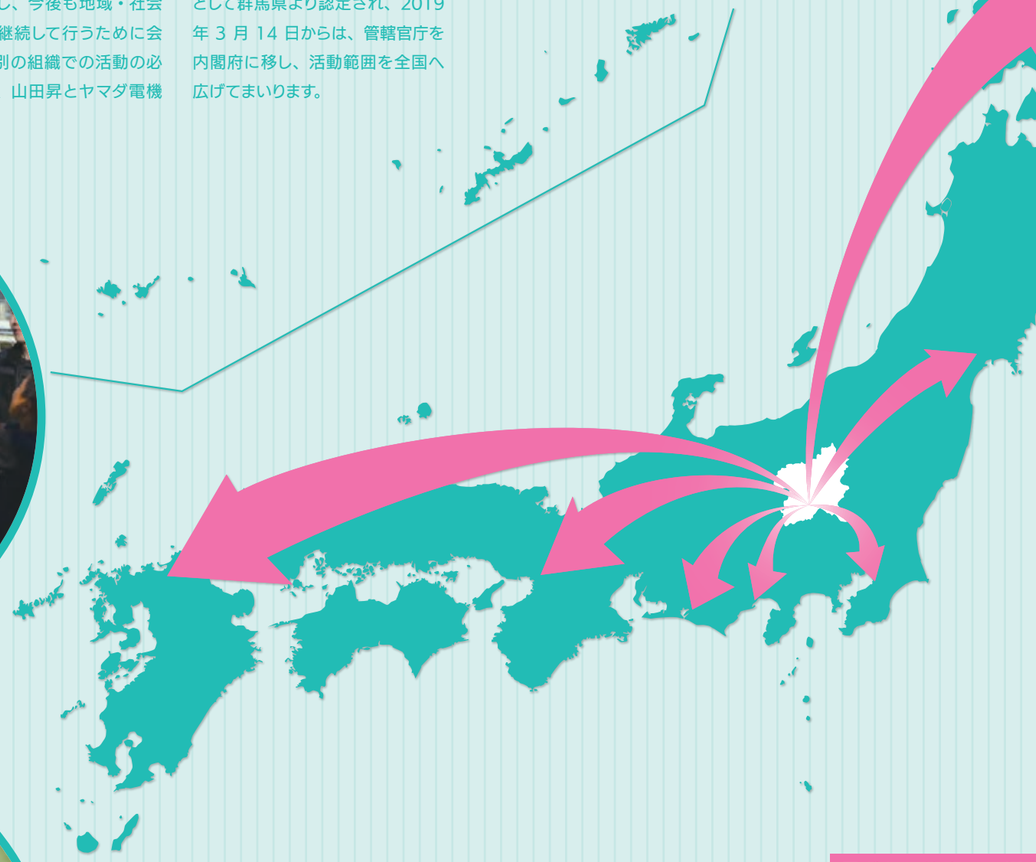
よりよい未来の実現を目指して

山田昇記念財団は、ヤマダ電機を母体とし、支援を頂きながら活動を行っております。ヤマダ電機は、お客様や地域の皆様との信頼関係を最も重視し、様々な地域貢献活動を実施して参りました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、日本に未曾有の大被害をもたらしました。その中で、山田昇（現 代表理事）は、今後の復興や日本再生に向けた社会貢献や安全なコミュニティーの構築の重要性を再認識し、今後も地域・社会貢献活動を継続して行うために会社組織とは別の組織での活動の必要性を感じ、山田昇とヤマダ電機での共同出資により、2012年2月10日に一般財団法人を設立しました。

2014年9月1日に公益財団法人として群馬県より認定され、2019年 3 月 14 日からは、管轄官庁を内閣府に移し、活動範囲を全国へ広げてまいります。

手話で教えるデフ陸上教室の開催



森の呼吸を肌で感じるツリーイング

日本中の子どもたちを明るい未来へつなぐために
活動エリアを群馬県から全国に拡大

本財団は、「子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、豊かな感性を育み、健やかな成長の一助となること」を活動の目的とし、「子どもたちの健全な育成」、「交通事故防止活動」、並びに「寄付・支援助成事業」を実施しております。

具体的には、子どもたちが自然やスポーツにふれあう機会や、自立に向けた支援など、将来への夢や希望を育む機会を提供しております。交通安全対策としては、幼稚園や高校等の子どもたちの送迎車両に対してドライブレコーダーを提供する事業や子どもたちの未来へつなぐ寄付・支援助成活動などを行って参りました。

日本中の子どもたちを明るい未来へつなぐために、これまで以上に公益に資する活動を念頭におき、その範囲を全国に拡大いたします。

子ども写真教室

『赤城自然園』自然体験会

子どもの仕事への興味促進事業

小学生サッカー教室

1 子どもたちの健全な育成

1.自然にふれる体験活動

子どもたちに自然に触れる機会を

住宅環境の変化や多忙な生活など様々な社会環境の変化によって、子供たちも自然と接する機会が少なくなっているように思われます。自然の中で植物や生き物、季節の移り変わりを直接見たり、接したりすることによって、様々なことを学び、生きていく上での力や感性、情緒等を育めるような体験活動の場を提供しております。

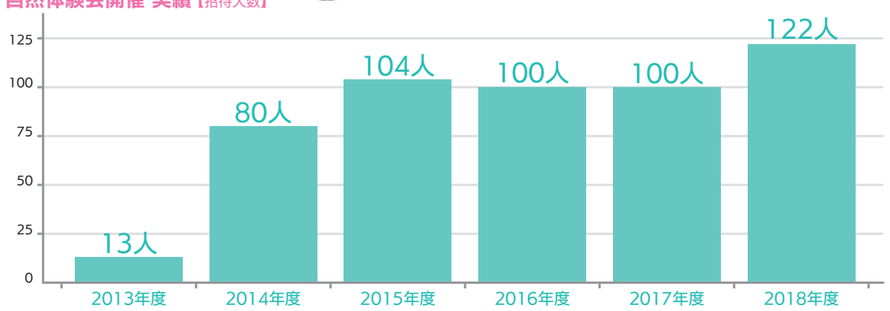
昆虫や植物の生きる知恵を知ろう

生き物たちは、厳しい自然環境の中で、生きるためのさまざまな工夫をしています。なかなか触れることのできない森の自然を、園芸家や自然観察指導員等として活躍されているインストラクターと共に散策します。

森の呼吸を肌で感じるツリーイング

単に木を見上げるだけでなく、普段では考えられないような高い木に登り、全く違う目線で森を感じる事が出来るツリーイングを、専門スキルを持ったインストラクターの指導のもとに体験します。

自然体験会開催 実績 【招待人数】



子どもたちの健全な育成

2.子どもの自立支援

子どもたちが将来 自立した生活を送るため

将来の生活基盤となる働くことの大切さを感じてもらうために、様々な仕事・職業に触れ、そこで働く多様な年齢や立場の人たちに話を聞くことで、自分たちの将来に繋げられるような機会を提供しています。
また、子どもたちが独立する際には、経済的に大きな負担が発生します。この負担を少しでも軽減できる様に、家族などから支援を受けられない子どもたちに対して支援をしています。

子どもの仕事への興味促進事業 （チャレンジキッズプログラム）

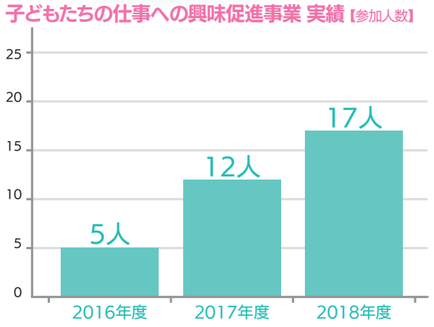
前橋市社会福祉課との協働事業で生活保護世帯で育つ子どもたちに対して、感性豊かな児童期に、将来への希望や可能性を広げるための機会を提供し、仕事への興味や働くことの大切さへの理解を促進することにより、将来への貧困の連鎖を解消することを目的とし事業を行っています。

※写真はイメージです。

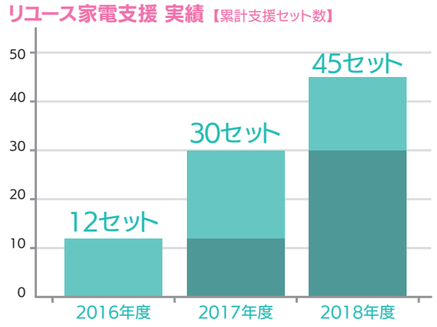
児童養護施設等を巣立つ 子どもたちへのリユース家電支援

児童養護施設で暮らす子どもたちは18歳（高校卒業）を過ぎると施設を退所することになります。その子どもたちが独立する際の経済的負担を軽減させるために、生活必要家電製品をセットにして無償で提供いたします。

子どもたちの仕事への興味促進事業 実績 【参加人数】



リユース家電支援 実績 【累計支援セット数】



子どもたちの健全な育成

3.スポーツ活動支援

子どもたちの心とからだに健やかな成長を

子どもたちの健全な育成のため、スポーツに関心を持たせることは、児童期の心と身体の成長に必要なものと考えられます。感性豊かな児童期に「スポーツ体験」をする中で、身体を動かす事の楽しさや仲間の大切さ等を直接感じることで「将来への夢や希望」を育む機会を提供いたします。

手話で教えるデフ陸上教室の開催

デフ陸上教室では、聴覚に障害のある子どもたちに対して、トップアスリートが自ら手話で指導を行います。
パフォーマンスを直接見たり、指導を受ける事により、スポーツの楽しさを子どもたちが実感し、スポーツへの興味・関心を促します。

小学生サッカー教室＆AED講習会への後援

サッカー教室では、一流選手や監督たちとのコミュニケーションを通じてスポーツのすばらしさを感じ、AED講習会では命の大切さを理解してもらいます。

手話で教えるデフ陸上教室 実績

年度	開催日	会場	講師	参加者
2018年度	12/8(土)	高崎市新町中学校	札塲大輝選手 ゲスト：設楽明寿選手 (デフリンピック金メダリスト)	幼稚園　3名 小学生　10名 中学生　1名 高校生　1名　計15名

陸上競技教室 実績

年度	開催日	会場	講師	参加者
2018年度	2/2(土)	島根県立浜山公園 陸上競技場	ヤマダ電機陸上競技部 柏村亮太選手 札塲大輝選手 小田大樹選手	小学生　154名 中学・高校生　30名 計184名

小学生サッカー教室&AED講習会 後援 実績

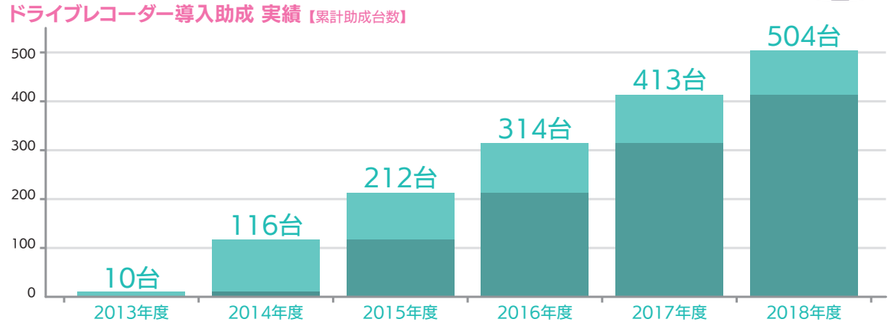
年度	開催日	会場
2016年度	6/11(土)	前橋総合運動場　陸上競技・サッカー場
2017年度	5/13(土)	フットサルコート 「キックス高崎」
2018年度	5/27(日)	前橋育英高校　サッカーグラウンド

2 交通事故防止活動

ドライブレコーダー導入助成

交通事故の総数を減らし、重大事故の発生を抑える事を目的とし、幼稚園や高校等で送迎用に使用している車両に対して、ドライブレコーダーの無償提供および取付費用の助成を行っています。

ドライブレコーダー導入助成 実績【累計助成台数】



3 寄付・支援助成事業

子どもの未来へつなぐ支援

子どもの健全な育成につながる支援を中心に本財団が賛同する事業を実施する他団体の施設や事業等に対して、寄付・支援助成を行います。

寄付・支援助成事業 実績

年度	団体	支援内容
2017年度	群馬大学	群馬大学基金　寄付金贈呈
2017年度	前橋赤十字病院	新病院建設資金　寄付金贈呈
2018年度	一般社団法人 日本聴覚障害者陸上競技協会	活動資金　寄付金贈呈

みなさまからの声

自然体験会

施設に入所している
児童たちは、家族や成長過程での
経験をする機会が少なく、
こういった機会を作って下さることに
大変感謝しております。
子どもたちも
毎年楽しみにしているため、
今後ともよろしくお願いいたします。

【児童養護施設 職員】

自然体験会

ツリーイングは
ちょっとこわかったけど、
空をとんでるみたいで
たのしかった。

【児童養護施設
小2女子】

リユース家電支援

私の卒業と就職に際し、
家電5点をいただきまして
誠にありがとうございます。
新生活に大いに役立て、
大切に使わせていただきたいと
思います。

【児童養護施設 卒園生】

自然体験会

ポニーは
かわいいから、
もう一度乗ってみたいと
思いました。

【児童養護施設
小3男子】

自然体験会

植物観察では
鼻を使っていろいろな
葉っぱのにおいを
かぐのが楽しかった。

【児童養護施設
小6女子】

チャレンジキッズプログラム

これまで
人見知りがありましたが、
このプログラムに参加してすぐに
話ができる友達ができたようで、
その経験が本人の中で
自信につながったようです。

【参加児童 保護者】

チャレンジキッズプログラム

帰宅してから、「楽しかった」
「本棚を作った」など、当日の
出来事を活き活きと話してくれました。
また、ご飯がおいしかったのと、
前年にいた学生との再会を
非常に喜んでいました。

【参加児童 保護者】

ドライブレコーダー導入助成

事故が起きた時
ドライブレコーダーが果たす
役割は大変重要であると、
昨今の危険運転による
事故の報道を見るたびに感じます。
緊急性がないこのような機器の導入は、
学校ではなかなかできません。
今後とも
よろしくお願いいたします。

【県立高校】

ドライブレコーダー導入助成

助成していただき、
ありがとうございました。
これからもより一層
安全運転に
心がけていきます。

【私立幼稚園】

これまでの活動でたくさんの感謝の言葉をいただきました。

沿革

2012
- 2月 一般財団法人山田昇記念財団　設立

2013
- 12月 「自然体験会」事業開始

2014
- 3月 「ドライブレコーダー導入助成」事業開始
- 9月 公益財団法人に移行（行政庁：群馬県）

2016
- 8月 前橋市との協働事業
「子どもの仕事への興味促進事業
（チャレンジキッズプログラム）」開始

2017
- 3月 「リユース家電支援」事業開始
- 11月 プロカメラマンによる「子ども写真教室」事業開始

2018
- 12月 手話で指導する「デフ陸上教室」事業開始

2019
- 2月 「陸上競技教室」事業開始
- 3月 活動区域を日本全国へ拡大

財団概要

名称	公益財団法人山田昇記念財団
代表理事	桑野 光正
設立	2012年2月10日　一般財団法人設立 2014年9月1日　公益財団法人認定（群馬県） 2019年3月14日　活動区域拡大認定（内閣府）
設立者	山田　昇 株式会社ヤマダ電機
所在地	〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号 TEL・FAX　027-321-2221

ロゴマークについて

YとNで「馬跳び」をして遊ぶ2人の子どもを表しています。また、緑色は自然のイメージ、ピンクは子どもたちに注がれる大人の愛情を表し、自然の中で、大人に守られながら楽しく遊ぶ子どもたちを表しています。